

昭和三十五年六月十日



# 福生町長に瀬古清蔵氏当選

去る五月二十一日執行された福生町選舉は現役町長との間に一騎打の激戦が展開され、投票の結果瀬古清蔵氏五〇一票を獲得し、現町長秋山誠一氏を五四四票差し当選した。町長の栄冠をから得し意氣書きを思わせた。

## 瀬古町長の挨拶

瀬古清蔵氏は去る二十二日町役場に初登庁全職員に就任の挨拶をなし職員の協力を求め次いで二十七日の開議された町議会においては施政方針を發表打ち出して、新ら

しい意気書きを思わせた。

得る限り温情味を持つて接しつて職員全体一丸となって誠に各

たその職場に忠実事に當り公務員として責任感を十分持つて働く意

をつくし善処する考えであります。

い期間に事業部を設立致しまして

事業面と致しましては首脳箇役場を開発併せて都市計画事業は申

上げるまでもなく、非常な大事業

であります。これには成る可く早

りますが、善処するといううな

過程でなくもう一步前進した考え

方で、ぜひ共実現を期して努力し

と格言致します。

工業高等學校の誘致の促進であ

りますが、善処するといふうな

めでいくと云う事になると思いま

す。これに対しまして二十戸に

対し百九十戸以上の申込のある現

が本年一千戸建設することによ

りまして来年度からは、あらた

に住宅問題では特に重要な

課題を抱いており、今後いろいろ行わられる事業

解消してゆきたいと思ひます。

上下水道の完成であります。

これが大きな事業であり又、なか

に努力して行くと同時に下水道の

通がついておる様であります。

で、全力を盡して水道事業の完成

についには現在迄順調に進んで

おります。

これまでの難問題であります。

そこで、今後いろいろ行われる事業

を積極的に推進して行きたいと考え

ます。

合併問題に対しましては、隣接

する町とよりよく連絡を密に取

まし、今後いろいろ行われる事業



# 大多摩観光連盟総会

## 観光事業振興二ヶ年計画

東京都の奥庭西多摩郡の観光客誘致と観光施設の充実を促進させようという目的で青梅市並に西郡八幡町村の役場を主体として発足した大多摩観光連盟第一回目の総会は去る五月三十一日西多摩郡自治会館で開き本年度の事業として次の諸事業を取りあげられた。

席上青梅市の大宮一郎氏より發言あり。

事業運営費は各町村からの分担金を主体として一年僅か百万円そこそこの金では、たいしたこと

一、四年後のオリンピックを目指すべきである……との意見もある。

二、観光道路、施設の建設と整備のため関係官庁、団体等への外部折衝を強力に行う。

三、連盟の財政確立のため恒久的臨時の収益事業を計画し実現に努める。

具体的には多摩溪谷と秋川溪谷を結ぶ周遊道路の建設推進、多摩

州鉄道の建設に協力する等本年度の事業として打ち出した。

昭島市及び昭島市観光協会ではより計画された“昭島音頭”(民謡)の作成をヨコハマ・レコードに依頼していた

昭島節は、伊藤潤である。

昭島音頭出来した昭島観光協会で

その他の団体に配付早速音の練習を始めた。

昭島音頭出来た昭島市

多摩の川辺の武藏野台地

花の白雪寒となる頃は袋掛けする乙女が歌う

味が自慢の多摩川梁よ今宵夜忍んでおいで

梨の樹蔭たのしい逢う頃

鮎を釣るなら昭島あたり

味も香りもよい多摩川の清い流れの涼しい釣り場

鮎を釣るなら昭島あたり

花の白さも自立たぬ夜

花の白さも